



我慢せず恥ずかしがらずに受診を 痔について

痔は成人の3人に1人、誰でもなる可能性があります。肛門が痛い、かゆい、出血する、腫れるという人は痔かもしれない。お尻の診察は意外に簡単で、楽に終わります。恥ずかしがらずに診察を受けましょう。

痔には主に3種類ありますが、一番多いのはイボ痔(痔核)です。肛門の内側にある血管が腫れ、クッション状の柔らかい部分が引き伸ばされて脱出する病気です。大きくなると出血するようになります。痛みはないこともあります。便秘や下痢、長時間同じ姿勢でいることで悪化します。最近では切らずに、痔に直接注射をして治す方法(ALTA療法)もよく行われています。

(女性に多いのは切れ痔(裂肛)です。便秘や下痢が原因になります。慢性化すると、ポリープができます。さらに悪化すると肛門が狭くなり、手術が必要に

なります。早期に治療を開始すれば薬だけで治ります。

男性や、お酒を飲む人に多いのは痔ろうです。肛門の内側にある小さなくぼみから細菌が入り、肛門(直腸)周囲にうみがたまる病気です。初期には痛みや腫れがありますが、慢性化すると痛みは少なくなり、自然にうみが出るようになります。治療には手術が必要です。

いろいろな理由で痔の治療を後回しにしている人も多々ありますが、長年我慢し続けていると治りにくくなります。自己流の治療は間違っていることも多いです。また、痔からの出血と考えると、大腸がんが隠れていることもあります。最近では痔の治療も進歩して負担の少ない方法になっています。早めには肛門外科を受診しましょう。